

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【公表番号】特表 2003-514040 (P2003-514040A)

【公表日】平成 15 年 4 月 15 日 (2003.4.15)

【出願番号】特願 2001-535433 (P2001-535433)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 G 18/48

// (C 0 8 G 18/48

C 0 8 G 101:00)

【F I】

C 0 8 G 18/48 F

C 0 8 G 18/48 F

C 0 8 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 6 月 18 日 (2003.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 少なくとも 80 重量%の 4, 4' - MDI を含むポリイソシアネート配合物；

b 1) EO が末端 EO 及び / 又はランダム EO として存在し、全 EO 含有率が少なくとも 50 重量%である、2 - 6 の平均公称ヒドロキシ官能価を有する、ポリオキシエチレン - ポリオキシプロピレンポリオール；

b 2) EO が末端 EO 及び / 又はランダム EO として存在し、全 EO 含有率が 20 - 50 重量%間であり、少なくとも 50% の第一ヒドロキシ含有率を有する、2 - 6 の平均公称ヒドロキシ官能価を有する、ポリオキシエチレン - ポリオキシプロピレンポリオール；

b 3) 少なくとも 50% の第一ヒドロキシ含有率を有し、そして 10 ないし 20 重量%の EO 含有率を有する、2 - 6 の平均公称ヒドロキシ官能価を有する、ポリオキシエチレン - ポリオキシプロピレンポリオール；

これらのポリオール b 1、b 2 及び b 3 は、b 1、b 2、及び b 3 の混合した重量に基づく次の比率、b 1 : 40 - 90 重量%、b 2 : 5 - 60 重量%、b 3 : 0 - 20 重量%に従って反応される；

c) 水；及び

d) 本質的に既知の添加剤及び助剤；

を反応させることによって、70 - 120 の NCO 指数で高レジリエンス軟質ポリウレタンフォームを調製するためのプレポリマー法であって、そしてここにおいて、前記ポリイソシアネートプレポリマーが 20 重量%より低い NCO 値を有する、前記方法。

【請求項 2】

前記ポリオール b 1、b 2 及び b 3 は、b 1、b 2、及び b 3 を混合した重量に基づいて、b 1 : 50 - 80 重量%、b 2 : 10 - 40 重量%、b 3 : 0 - 10 重量%の比率で反応される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ポリオール b 2) が、- PO - PO / EO - EO 型である、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ポリオール b 2) が、 - P O / E O - E O 型である、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ポリオール b 2) が、 - P O - E O 型である、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ポリオール b 1、b 2 及び b 3 の官能価が 2 - 4 である、請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

前記ポリオール b 1 ないし b 3 が、更に分散された粒子を含む、請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

N C O 値が、7 ないし 15 重量%である、請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

A) ポリイソシアネートを請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載のポリオール配合物の一部と反応させることによって得られる、7 ないし 20 重量%の N C O 値を有するポリイソシアネートプレポリマー、及び B) 請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載のポリオール配合物の残部及び水を含むイソシアネート反応性成分を含む反応系。

【請求項 10】

前記ポリオール配合物の一部が、ポリオール b 1) に含まれる、請求項 9 に記載の反応系。